

「あなたの当たり前は、誰かの魅力かもしれない…」

大田原通信

大田原市移住・定住交流サロン通信

地元の良さ、再認識



大田原に住んでいる私たちが「当たり前」と思っていること…。それが移住してきた人にとっては「魅力」に感じられています。この通信では、そんな大田原の魅力について、毎月1回お伝えしています。

境内を通して伝えたい思い

— 宮大工 —
さいとう たかひろ
齋藤 貴広さん

前号で取材させていただいた、青龍寺弘範さんのご紹介で、宮大工の齋藤貴広さんにお話を伺いました。宮城県出身で、現在は大田原市を拠点に、栃木県内だけでなく埼玉県や茨城県にある本堂などの修繕、改修を行っています。宮大工という世界の門を叩いてから30年近く活躍され、市内では、龍泉寺や威徳院の本堂などを手掛けていらっしゃいます。



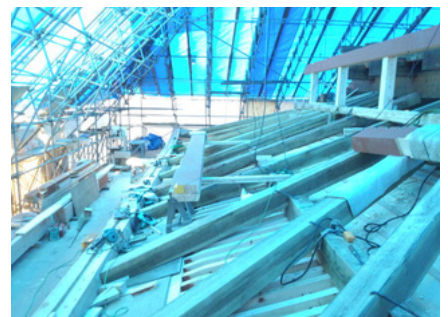
齋藤 貴広さん

宮大工への憧れ

宮大工の世界に魅了されたのは高校時代だそうです。齋藤さん「修学旅行で奈良と京都に行ったときに、法隆寺などの建造物を見て、建物のスケール感やこんなにも大きな建物を木造で造ることのすごさに圧倒されました。それが宮大工に憧れを持ったきっかけでした。」

人とのご縁

齋藤さん「高校2年生の時に、法隆寺の宮大工棟梁として有名な西岡常一棟梁(※)の本を読みました。読み終えた後、西岡棟梁に『この世界に入りたい』と手紙を送ったんです。そうしたら『奈良で作業をしているから見に来ないか』ってお返事をいただきました。そこで色々な方とのご縁をいただきました。高校卒業後は、その時ご縁のあった方のところで働くようになったんです。」



屋根部分の作業現場

にしおか つねかず
※西岡 常一 棟梁 文化財技術保存者であり『最後の宮大工棟梁』として名の知れた人物。法隆寺解体修理や薬師寺の再建を行った。

厳しい世界で

お話を聞いて、厳しい世界だからこそ、そこにしかない魅力があると感じました。齋藤さん「実際に何度も挫折をしてきました。でも、自分がやりたいと思えるものができるのは、この世界しかないと思いました。設計の提案から施工まですべて行います。自分の思うものが形になることに、やりがいや喜びを感じることができます。そんな中で、宗教的なものを造らせていただけていることや、特別なものに携われることを大切にしたいです。」

宮大工の役割と思い

建築物を通しての様々な思いが、とても素敵だと思いました。齋藤さん「極楽浄土というものはこうなんだ、というのをお寺や境内で感じてもらい、不安から安心へ繋がっていく。そんな繋がりを創る役割が宮大工だと思います。建物が完成した時には、報われますね。山で木を探し、伐採するところから地盤改良など全て自分で行うため、自分の人生を懸けてできた子供のようなんです。メンテナンスをしていきながら大切に育てていきます。」



木を選定し伐採する様子



大田原市 龍泉寺（本堂）

宮大工の世界の職人として

今後の目標をお聞きしました。

齋藤さん「終わりのない世界のため、いつまでも経っても挑戦です。職人として、それぞれの建物を手掛ける技術を磨くことはもちろん、昔ながらのやり方を活かしながら、新しいものを造り上げていきたいです。力強い建物を造り続け、建物と一緒に次の世代に繋げることができたらいいですね。」



取材した方に聞きました

「あなたの好きな大田原」

笠石神社



齋藤さんのオススメは、笠石神社です。日本三古碑であり国宝の那須国造碑が祀られている神社で、とても歴史を感じることができます。那須神社や侍塚古墳もお好きだそうです。



お問合せ

大田原市の移住相談窓口

大田原市移住・定住交流サロン

大田原市本町1-4-1 大田原市役所A別館2階

Tel : 0287-23-8794 (平日/9:00~17:00)

Mail : salon@ohtawara-ijyu.jp



大田原の暮らし、地域情報など発信中!

担当課：大田原市役所 総合政策部 政策推進課

大きなキャンバスに絵を描こう！ ワークショップ



参加費無料 申込不要

開催日：9月8日(金)・9日(土)

時間：11:30~16:00 ※最終入場は15:00

場所：ヒカリノカフェ 蜂巢小珈琲店

講師：木城 圭美 先生